

鳥インフルエンザの防疫対策の強化について

10月25日、韓国において、32カ月ぶりに野鳥の糞便からHPAIウイルスが検出されました。飼養衛生管理状況の点検を行い、防疫に万全の対応をお願いします。

1. 発生予防

- (1)「衛生管理区域」の区画を明確にしましょう。
 - ・区域を出入りする車・人・物は、消毒を徹底しましょう。
 - ・区域に立ち上がった人を記録し、保存しましょう。
- (2)鶏舎や防鳥ネットの破れを点検し、野鳥を含む野生動物の侵入を防ぎましょう。
- (3)給餌・給水施設や飼料の保管場所にねずみや野鳥などの野生動物の排泄物が入らないようにしましょう。
- (4)定期的に家きん舎と道具の清掃・消毒をしましょう。
- (5)農場出入口や鶏舎周辺の消毒(石灰散布等)をしましょう。

2. 早期発見・通報

- (1)毎日の健康状態を観察し、「異状」が見られたらすぐに家畜保健衛生所に通報しましょう。

異状が見られた場合とは？

- ① 鶏舎ごとの1日の家きんの死亡率が直近21日間における平均死亡率の2倍以上になった場合。
- ② 家きんに鶏冠・肉垂等のチアノーゼ・沈うつ・産卵率の低下等の症状が見られる、5羽以上の家きんがまとまって死亡又はまとまっ
ずくまっている場合
- ③ 民間獣医師等が行った簡易検査キットや抗体検査による陽性を確認した場合

山梨県東部家畜保健衛生所

電話：055-262-3166 FAX：055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先：090-5535-8005

土日・休日の連絡先：090-5544-7868

高病原性鳥インフルエンザの特定症状



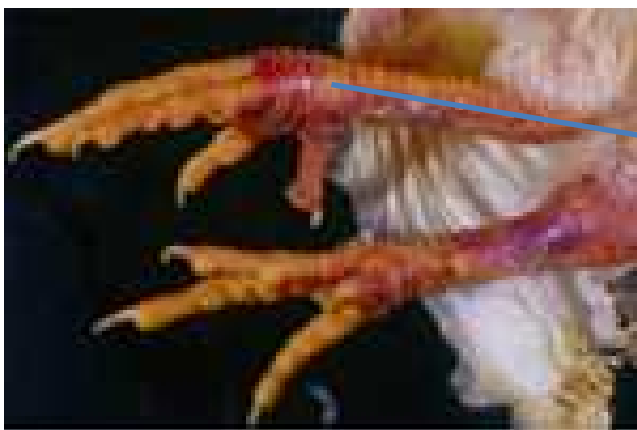
元気消失



沈うつ



肉冠や肉垂の
チアノーゼ



脚部の
皮下出血